

爽秋の候、保護者の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より学校教育活動にご理解やご協力をいただき、誠にありがとうございます。

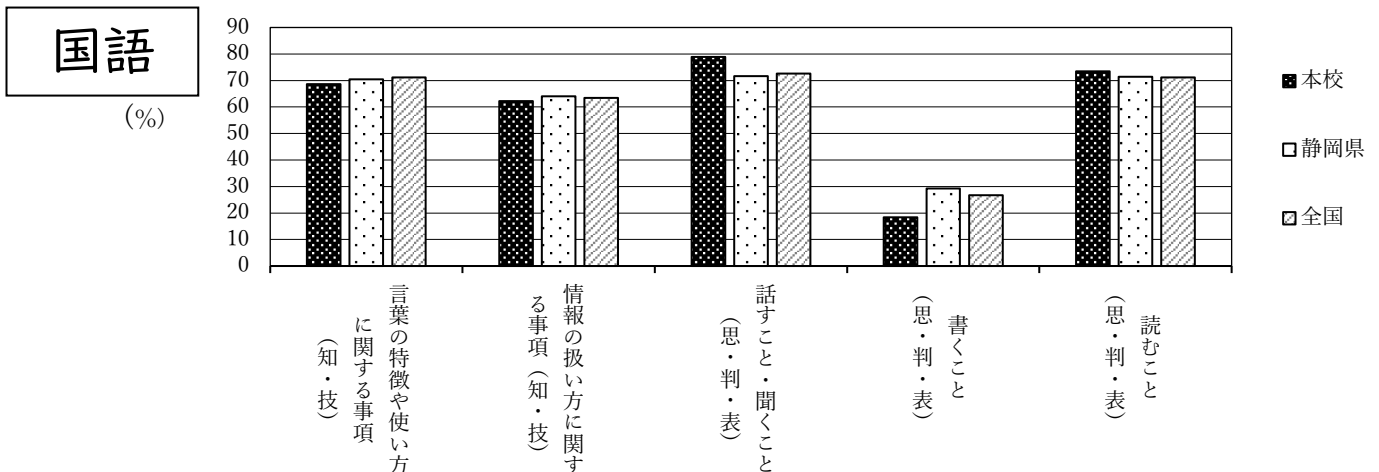
さて、令和5年度全国学力学習状況調査の本校の状況について、具体的な内容に触れながら説明させていただきます。これを機会に学校と家庭が子どもたちの状況を共通理解し、今後に役立てていけたらと思います。

全国学力・学習状況調査とは・・・

全国学力・学習状況調査は、小学6年生と中学3年生を対象に行われています。文部科学省や教育委員会が、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることが目的です。学校には、児童への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることが求められています。

この調査は、「教科に関する調査」と、生活習慣や学習環境に関する「質問紙調査」で構成されています。「教科に関する調査」は、「知識・技能、思考力・判断力・表現力等は、相互に関係し合いながら育成されるもの」という新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎知識と活用力を一体的に問うように構成されています。

本校の調査結果と課題



右上のグラフは、国語の領域ごとの正答率を示しています。

<正答率が比較的高い結果となったもの>・・・思考力、判断力、表現力等

- ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(読むこと)
- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる。(読むこと)
- ・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができる。(話すこと・聞くこと)
- ・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(話すこと・聞くこと)

<正答率が比較的低い結果となったもの>・・・知識及び技能 思考力、判断力、表現力等

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
(言葉の特徴や使い方に関する事項)
- ・日常よく使われる敬語を理解している。
(言葉の特徴や使い方に関する事項)
- ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(書くこと)

以下に、課題となった問題例を紹介しします。

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。日常よく使われる敬語を理解している。(言葉の特徴や使い方に関する事項)

雑草取りを続けたのですが、ア いがい に雑草が生えてきて、とてもこまりました。

ウ きかん は7月1日から15日までです。

まず、上のような、ひらがなを漢字に直す問題です。

「いがい」は、「意外」が正答ですが、「以外」と書いた誤答がありました。また、「きかん」は、「期間」が正答ですが、「期」が無答であったり、「季」と書いたり間違えが多かったです。

漢字書取が毎日の宿題となっていますが、実際に書いて使えるまで定着しているかが大切です。習った漢字を、作文やノートなどで、積極的に書いて使っていくことで、定着を図ってきたいと思ひます。

右上は、日常でよく使われている敬語についての問題です。「言う」の尊敬語は「おっしゃる」、「聞く」の謙譲語は「うかがう」ということが理解できているかが求められます。普段の生活から、丁寧な言葉や目上の方に対する言葉遣いを意識していくことで、正しい敬語を覚えることができます。日常生活の中で、言葉遣いについて指導していきます。

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

(書くこと)

問題にあるいくつかの条件に合わせて文章を書く問題です。条件は、問題文にあるグラフと作文メモのカードから、60字以上、100字以内という字数の指定の中で分かることを書くことと、解決方法を書くことです。

1つの条件だけで書いてしまったり、論理的にまとめて文章を書くことができていなかったりする解答が多くみられました。

「まず」「次に」というつなぐ言葉や順番を意識して文章を書くことや、条件を与えて文章を書くこと

を取り入れ、適切に文章を書くことができるように支援していきたいと思ひます。また、誤字、脱字も見られるため、文章を書いた後で、自分で見直しや推敲をすることを習慣付けていきたいです。

- 1 ア おっしゃった
 - 2 ア 申した
 - 3 ア おっしゃった
 - 4 ア 申した
- 1 イ うかがって
 - 2 イ お聞きになって
 - 3 イ お聞きになって
 - 4 イ うかがって

聞きがしたことを相手に確かめるとき

〇〇さんが ア ことを、もう一度 イ いいですか。

【谷さんのノートの一部】

三 谷さんは学習をふり返り、インタビューをするときの敬語の使い方について、ノートにまとめています。次の「谷さんのノートの一部」の ア と イ に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

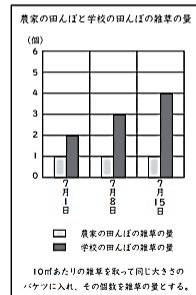
【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼにええを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア いがい に雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと くらべてみました。ウ きかん は7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましよう。
※◆の印から書きましよう。どちらうで行を突えないで、続けて書きましよう。

【カード④】
7月20日
【農家の石山さんのお話】
・雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

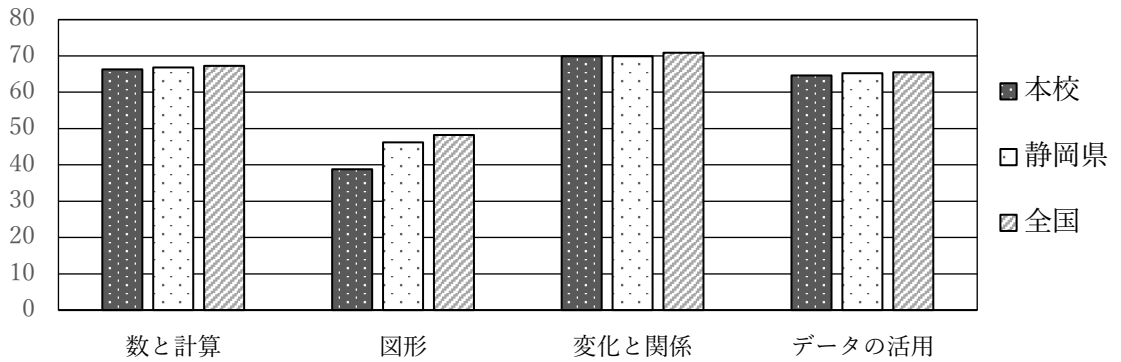
【カード⑤】
7月21日
【学校でできる解決方法】
・雑草取りの回数を増やす。
・雑草取りの人数を増やす。

○ 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
○ 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
○ 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、ア に学校の米作りの問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、イ に入る内容を書きましよう。

算数

(%)



上のグラフは、算数の領域ごとの正答率を示しています。

<正答率が比較的高い結果となったもの>・・・知識及び技能

- ・伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる。(変化と関係)
- ・加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができる。(数と計算)
- ・「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができる。(数と計算)

<正答率が比較的低い結果となったもの>・・・知識及び技能 思考力、判断力、表現力等

- ・台形の意味や性質について理解している。(図形)
- ・正三角形の意味や性質について理解している。(図形)
- ・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。(図形)
- ・二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる。(データの活用)

以下に、課題となった問題例を紹介します。

高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。(図形)

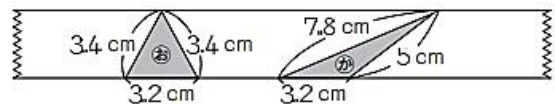
右の問題は、底辺の長さが等しい三角形について、テープの幅が一定であることから、㊸と㊹の高さが等しく、面積もまた等しいということを言葉や数を用いて記述する問題です。

「三角形の面積＝底辺×高さ÷2」という三角形の面積を求める公式を子供たちはよく覚えています。しかし、この図を見た時に、テープの平行な二つの直線の幅はどこでも等しいことから、2つの三角形の高さが一定であり、底辺も等しいということに気付けるかが問題となります。

正答は「3」で、記述例は以下の通りです。

三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。㊸と㊹の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。㊸と㊹の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、㊸と㊹の面積は等しいです。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだだけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

正答の条件は、①底辺の長さが等しいことを表す言葉や数を書いてあること、②高さが等しいことを表す言葉が書いてあることです。2つの条件が書かれていて正答になります。

誤答としては、底辺の長さが等しいことが書けていても、テープの幅が一定（平行だから高さが同じ）だから2つの三角形の高さが等しくなるということが書けていないものが多くありました。また、周りの長さや高さを混同してしまって、「3」を選んでしまう間違いもありました。三角形の高さを正しくとらえることと、与えられた情報の中から、必要な部分を選択し、立式したり言葉で説明したりすることができるように、授業の中でもいくつかの条件から適切なものを選択する機会をもっと作っていききたいと思います。

学習状況調査（児童生徒質問紙）から

富士市では、家庭と学校が協力し、学力向上に努めていくよう「自分で計画を立てて勉強をしている」「1日30分以上読書をしている」という2つの項目に、数値目標を設定しています。

- ・自分で計画を立てて勉強をしている：65%以上
- ・1日30分以上読書をしている：43%以上

本校の子供たちでは、「自分で計画を立てて勉強をしている」割合は、「どちらかといえば」を合わせると **61.2%** となり、比較的低い値となりました。本読み、漢字書取、計算（ドリル・プリント等）の毎日の宿題については、しっかりやっている子が多いです。一歩進めて、自分に必要な学習内容を考えて取り組むことが大切です。中学校に向けて、自分から興味のあることや苦手意識のあることなど、課題を見つけて、自主的な学習に取り組めるよう支援していききたいと思います。

「30分以上読書している」については、**46.9%**で、富士市の目標値に達しています。毎朝の10分間読書だけでなく、休み時間にも積極的に図書室を活用している様子が見られます。「ちょっとした隙間の時間を読書の時間に。」といった日常の読書を大切にしていきたいと思います。

その他、全国や県と比較した主なものです。

質問内容	本校	静岡県	全国
自分には、よいところがあると思いますか。	☆89.8%	85.1%	83.5%
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	☆79.6%	78.9%	76.5%
平日、家庭で1日当たりどれくらいの時間勉強しますか。(1時間以上と答えた人)	◆51.1%	60.2%	57.1%

今年度の本校の重点目標は、「あなたに『いいね。』 自分も『いいね。』」です。子供たちが、友達の良さを見つけて認め合うとともに、自分の良さを知って自信をもって学習や学校生活に取り組んでいくことを目指しています。「自分には、よいところがあると思いますか。」について肯定的な意見が多くなりました。「いい所見つけ」や「いいねの木」の取り組みを継続し、子供たちの自己肯定感が高まるように支援していきます。

また、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」についても、子供たちが友達と意見を出し合って、楽しんで課題を解決する学習に取り組んでいることが、この結果から見えてきました。今回の調査では、「思考力、判断力、表現力等」の内容で正答率が低くなる傾向が見られました。授業の中で、課題について自分の考えをもち、その理由を話したり記述したりすることや、友達と考えを出し合って考えを深めていくことに、今後力を入れていききたいと思います。

まとめ

学校では、今回の結果を生かして、引き続き子供たちに確かな学力が身に付くように、授業改善を進めていきます。今後とも、学校・家庭・地域が一つになって子供たちの「生きる力」を育てていけますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。各ご家庭におきましては、学習や生活習慣に目を向けながら、子供たちへの見守りや声掛けを引き続きお願いいたします。